

### 第3章 近世社会の形成と庶民文化の展開

#### 2 幕藩体制の成立

#### 3 キリスト教禁止と鎖国（教科書 P. 123～127）

##### ▶東アジア諸国との関係改善 [p. 123]

秀吉の強圧的な外交政策→家康が改善し、東南アジア諸国との親睦をはかる

朱印船… [ ]（家康が発給した渡航証明書）を持つ船

[ ]

輸出品… [ ]・銅・鉄・硫黄などの鉱産物、工芸品など

輸入品…中国の [ ]・絹織物、南方産の象牙・鹿皮・鮫皮・砂糖など

相手国…マカオを根拠地としたポルトガルが主

[ ] … [ ]・[ ]・[ ]

（のちに [ ]・[ ] も）の商人が生糸の価格を決め、一括購入

海外に移住する日本人も増え、各地に [ ] が形成

[ ] …シャムのアユタヤで王室に重用された

国交がないまま、中国船も長崎や平戸に来航、東南アジアでの出会貿易もさかん

##### ▶禁教と貿易統制の強化 [p. 124]

[ ]（オランダ）…1600年、豊後に漂着

[ ]（オランダ）と [ ]（イギリス）を

外交・貿易顧問に

イギリス・オランダのアジア進出…それぞれが東インド会社を設立

1609年オランダが [ ] に商館設置

1613年イギリスが平戸に商館設置

キリスト教の布教黙認→信者激増→家康が [ ] を出す

（1612年直轄領，1613年全国）

1616年 ヨーロッパ船の寄港地を [ ]・[ ] に限定

1623年 [ ] 船が商館閉鎖，退去

1624年 [ ] 船の来航禁止

1631年 奉書船制度の開始

1633年 [ ] 以外の日本船の海外渡航禁止

1635年 日本人の海外渡航禁止, 在外日本人の帰国禁止

1636年 ポルトガル人を [ ] に移す

▶島原・天草一揆と鎖国 [p. 125]

1637年 [ ]

キリスト教信者の多い島原・天草地方で, 領主からの迫害と圧政に反発

[ ] を総大将として原城跡にたてこもる

幕府が12万人余りの軍勢を動員し, ようやく鎮圧

1639年 [ ] の来航禁止

1641年 平戸の [ ] を長崎 [ ] に移す→ [ ] の完成

幕府はキリスト教根絶のため [ ] を作成し,

[ ] を徹底

九州では [ ] も実施

▶鎖国下の貿易 [p. 126]

四つの窓口 [ ] = オランダ・中国, [ ] = 朝鮮, [ ] = 琉球,

[ ] = アイヌ

長崎 [ ] は来航ごとに [ ] を幕府に提出

中国(明→清) 次第に貿易額増加, 金銀流出防止のためにしばしば貿易制限

1688年以降は [ ] に居住を制限

長崎貿易

輸入品…中国産 [ ] ・ [ ] ・書籍, 南洋産砂糖・蘇木・香料・獣皮など

輸出品… [ ] ・ [ ] (のちに銅・俵物)

▶朝鮮・琉球と蝦夷地 [p. 126]

朝鮮

1607年 朝鮮の使節来航

1609年 [ ] … [ ] が毎年20隻の貿易船派遣を認められる

輸入品…朝鮮人参・木綿

輸出品…銀・銅

[            ]

1609年 [            ] の [            ] が琉球に侵攻，以後薩摩藩の支配下に

独立国の形式を保ち中国との朝貢貿易を継続

幕府の将軍の代替わり時に [            ] を，琉球国王の代替わり時に [            ] を派遣

[            ]

[            ] は家臣にアイヌとの交易権をあたえていた（[            ]）

→昆布・鮭・毛皮などをもたらす

1669年 松前藩士の不当な交易に不満をもつアイヌが蜂起

（[            ]）

→敗れたアイヌは全面的に松前藩の支配下に